

町長と語り合おう！



町内のグループ・団体・町内会などが町長と語る「町長と語り合おう」。
 去る1月14日、上富良野町商工会女性部の8人が、女性としての立場から
 町の商工業を元気にするための方策について、向山町長と語り合いました。

女性部で商品開発中 豚さがり丼はいかが？

◆竹澤 女性部では「上富良野の特産品をうまく活用できないか」と、今年に豚さがり丼を試作し、ピアガーデンで提供できないか模索中です。

◆鶴谷 商工会女性部独自の特産品開発で、反響を見ていろいろやってみようと思っています。

◆馬場 会議中の意見から理事で試作品を作り、トッピングを考え「これはいけるのでは」ということで女性部のみんなで試食してみました。

◆町長 商工会全体での情報共有はされていますか？

◆立松 まだ試作の段階なので、これから女性部内での合意が必要です。

◆町長 よその方から「上富良野には魅力的な農産物があるのに、町の人はそれに気付かない。十分に生かしきれないのでは」と言われます。皆さんで魅力のあるものを探したことは？

◆立松 何を取り上げるかということに、上富良野にはおいしいものがたくさんあります。決めてられません。



手前から鶴谷久美子さん、木津晴美さん、馬場辰子さん、能島明美さん

た。「かみふは肉がおいしい」というのが定着しつつあるので、豚さがりは第一歩にふさわしいと考えています。

◆鶴谷 豚さがり丼を食べてもらおう場としてセントラルプラザ横の広場を考えていて、常設の大型テントがあれば女性部で出店をやってみたいと思っていますが、テントがありません。

◆町長 広場を有効に活用することは必要と思っており、予算など状況が整えば前向きに考えたいと思います。

◆鶴谷 テントがあれば、女性部でイベントをさせてもらったり、ほかのイ

ベントにも使えます。イベントをすれば人が来て、にぎやかになります。

◆町長 札幌のピアガーデンなどで、常設テントがあるということによる集客力は確かですし、検討させていただきます。と思っています。

町内の商店を活性化させるのには？

◆町長 女性の視点で、商工業の改善や活性化についての考えも聞かせてほしい。そういうところから、行政もお手伝いできればと思います。

北海道が調査した上富良野町民の消費動向によると、町内で買い物をする人の比率は平成7年の6割から、平成21年には2割に減少して、その大多数は旭川にしかけていくとのこと。

◆渡辺敬子 町内で売っている店がないから旭川に行く。ついでだから地元で売っている物も買つ、ということはありません。商店も農家と同じで次の後継者がいないから、店を続けられるかなという心配もあります。

◆町長 町民の一部から「町内での買物がしづらい」、特に高齢者からは「買い物に行きたくても体が…」という声も寄せられています。

◆渡辺陽子 若い人は旭川で肉や魚を1か月分まとめ買いついて、野菜はかみ込んで買っている。高齢者には農協が宅配しているみたいですね。

◆町長 大型店の関係者によると、上

富良野には宅配サービスの分野ではまだニーズがあるようで「ビジネスチャンスはある」と期待しています。

◆立松 宅配では肉や魚などいろいろ取り揃えているので、商工会としてまとまってできないかな、と思います。町内での販売ノウハウは、各個店が持っています。

◆北 商工振興担当主幹 高齢の方がカートを押して買い物に出かけるのを見かけます。自分で動ける人はいいですが、これからの時代は宅配サービスはあった方がいい。実施には「何が買えるか」「必要な商品を用意できるか」という商品の構成や価格が大切になってきます。少しずつ試験的に実施するのがいいのではないかと思います。

◆町長 私は「みんなで町を元気にしよう」という気持ちと町を愛する心があれば、「方法はある」と思っています。知恵を出し合い、今後のことをみんな考えていきたいと思っています。これからの皆さんに期待しています。



手前から竹澤恵美子さん、渡辺敬子さん、渡辺陽子さん、立松幸恵さん